

講習会用映像教材リニューアル業務に関する提案書作成・審査要領

本書は、講習会用映像教材リニューアル業務に関する提案書の作成、審査等の要領を提示するものである。

I 提案書作成要領

1. 提案書の構成及び作成方法

以下に、講習会用映像教材リニューアル業務に関する提案書の評価基準表（以下「評価基準表」という。）から「評価項目」及び「要求要件」を転載する。

評価項目	要求要件
0. 仕様書の遵守	仕様書に規定する業務の目的や作業事項に反し、又は矛盾する提案がないこと。
1. 業務の実施方法	業務の実施に当たって、具体的な作業工程、内容等を記述すること。
2. リニューアルの方針	映像、イラスト、テロップ等でリニューアルすべき点を提案すること。また、具体的なリニューアルの方針を提案すること。
3. 受講者の理解度と意欲関心を高める工夫	安全衛生管理の科目に対する受講者の理解度と意欲関心を向上させるために、構成や映像等で工夫すべき点を提案すること。
4. 業務の実施計画	業務の実施に当たって、開始から完了までのスケジュールを記述すること。
5. 業務の実施体制、役割分担等	業務の実施体制、役割分担等について表にまとめること。
6. 業務実施の従事者の実績、能力、資格等	業務に従事する者の実績、本業務に係る能力を明示すること。
7. 組織の実績	過去の類似業務の実績とその概要をそれぞれ記載すること。
8. 組織の特長	組織のアピールポイントを記載すること。
9. 組織の環境マネジメントシステム認証取得状況	ISO14001、エコアクション21、エコステージ、地方公共団体による認証制度等のうち、第三者による環境マネジメント認証取得の有無、有の場合は認証の名称を記載し、証明書の写しを添付すること。

提案書は、上記評価項目に基づき、次に従って作成すること。

- 1) 「はじめに」の項を冒頭に設け、「本書は、講習会用映像教材リニューアル業務に係る仕様書に基づき、その実施方法等に関する提案を行うものである。本業務の実施に当たっては、同仕様書を遵守し、本提案書をその実施計画書と位置づけて行うものとする。」と必ず記載すること。このため、提案書の作成に当たっては、仕様書に反し、又は矛盾する事項がないか十分に点検すること。なお、提案書が仕様書に反し、又は矛盾すると認められたときは、評価項目「0. 仕様書の遵守」に基づき、当該提案書は不合格となる。
- 2) 「はじめに」以下は、上記評価項目に従い「1. 業務の基本方針」から「9. 組織の環境マネジメントシステム認証取得状況」までの各評価項目を目次とし、それぞれの要求要件に基づき提案書を作成すること。記述上の必要性に応じ、各評価項目内を細分化して目次立てすることは差し支えない。
- 3) 提案書に詳細に記載するよりも添付資料を参照した方がわかりやすい事項については、提案書中に「△については、別添資料○参照」と記載して、資料添付を行うことは差し支えない。ただし、添付資料が大部にわたる場合は、必ずその要点を提案書中に記載すること。「評価項目」及び「要求要件」との関係が容易にわかり難い添付資料は、添付されなかったとみなすことがある。
- 4) 提案書は、難解な専門用語には注釈を付す等、専門家以外でも理解でき、審査可能なように平易な記述に努めること。

2. 提案書様式

提案書は、別添 5 の様式を踏まえて作成すること。記載上の必要に応じて様式を変更しても差し支えないが、様式の変更は必要最小限にとどめること。当センターから連絡が取れるよう、提案書上に連絡先（電話番号及びメールアドレス）を記載すること。

Ⅱ 提案書の審査及び落札決定の方法

1. 落札方式及び得点配分

1) 落札方式

次の要件を満たしている者のうち、2)によって得られた総合評価点の最も高い者を落札者とする。

- ① 入札価格が予定価格の範囲内であること。
- ② 「評価基準表」中、必須とされた評価項目の基礎点をすべて獲得していること。

2) 総合評価点の計算方法

- ・ 総合評価点＝技術点＋価格点
- ・ 技術点＝基礎点＋加点（満点200点）
* 技術点は、当センターに設置する提案書審査員の採点結果の平均値を算出し、小数点第三位以下を切り捨てたものとする。
- ・ 価格点＝ $100 \times (1 - \text{入札価格} \div \text{予定価格})$
* 価格点は、上記式により数値を算出し、小数点第三位以下を切り捨てたものとする。

3) 基礎点部分の採点

技術上の基準を満たす場合に、当該基礎点全部を得点とする。

4) 加点部分の採点

① 配点5点の場合、技術上の基準に基づき、次の6段階評価とし、配点に応じて係数をかけて得点を算出する。

十分満足できる	： 5点
満足できる	： 4点
平均レベル	： 3点
平均よりやや劣る	： 2点
平均よりかなり劣る	： 1点
満足できない	： 0点

基礎点がある項目に係る加点部分の「満足できない：0点」とは、基礎点の基準は満たす（基礎点は得点）が、加点部分の基準をなんら満たさない場合である。

2. 提案書審査（技術点の採点）の手順

1) 入札資格を有する者から提出された提案書について、「評価基準表」に基づき、必須とされた項目の基礎点に係る評価を提案書審査員が行う。各審査員の評価結果を協議し、必須項目毎に基礎点の獲得の可否を判断する。すべての必須項目の基礎点を獲得した提案書を合格（基礎点を付与）とし、それ以外の提案書は不合格とする。

2) 合格した提案書について、審査員毎に評価項目の加点部分の評価を行い、基礎点と合計した採点結果を記入する。確定した各審査員の採点結果の技術点について、その平均値を算出する。

3. 落札決定

2. による技術点に、当該提案書に係る入札価格に基づく価格点を加算し、総合評価点を算出する。各提案書の総合評価点を比較し、最も高い数値を得た提案書の提出者を落札者とする。